



2025年11月7日

各 位

会社名 M e d i c i N o v a , I n c  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岩城 裕一  
(コード番号: 4875 東証スタンダード)  
問合せ先 東京事務所代表 副社長 松田 和子  
兼最高医学責任者 (CMO)  
電話: 03-3519-5010  
E-Mail: infojapan@medicinova.com

### 第5回 BioTech Breakthrough Awardにおける Contract Research and Development Innovation Award の受賞に関するお知らせ

2025年11月6日 米国 ラ・ホイヤ発 - メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 ラ・ホイヤ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一) (以下「当社」といいます。) は、第5回 BioTech Breakthrough Award (バイオテック・ブレークスルーアワード) \*1において“Contract Research and Development Innovation Award” \*2を受賞したことをお知らせします。

BioTech Breakthrough Award (バイオテック・ブレークスルーアワード) は、ライフサイエンス及びバイオテクノロジー分野における革新的な企業、製品、サービスを表彰する国際的な賞で、世界中のバイオテクノロジー企業や研究機関が開発した画期的な技術やサービスを評価・表彰するものです。

当社は、MN-166 (イブジラスト) \*3 の開発における革新的な取り組みが評価され、“Contract Research and Development Innovation Award”を受賞しました。MN-166 (イブジラスト) は、致死的な神経変性疾患の一つである筋萎縮性側索硬化症 (ALS) などを含む複数の神経疾患を対象に開発中の当社の主力候補品である低分子化合物です。MN-166 (イブジラスト) は、疾患進行に関与する複数のメカニズムを調節することで神経炎症を抑制し、神経保護を促進すると考えられており、有効な治療選択肢が限られている神経疾患に対する有望な治療法になると期待されています。

当社代表取締役社長兼 CEO である岩城裕一は次のようにコメントしています。

「今回の受賞は、ALSのような深刻な疾患に対する治療方法の開発に取り組む当社を改めて評価するものであり、患者さんのために意義深いブレークスルーをお届けするために尽力する当社チームとサポーターたちの尽力を称えるものです。現在進行中の ALS を対象とするフェーズ 2b/3 臨床試験 (COMBAT-ALS スタディ) は、深刻なアンメット・メディカル・ニーズへの当社の真摯な取り組みを示すものです。本治験の着実な進捗に勇気づけられており、来年には結果を共有できることを楽しみにしています。」

以上

#### \*1 BioTech Breakthrough Award (バイオテック・ブレークスルーアワード) について

この取り組みは、有数の独立系市場調査機関であるバイオテック・ブレークスルーによって毎年実施されているもので、世界のライフサイエンス及びバイオテクノロジー業界における最も革新的な企業、技術、製品を表彰する

プログラムです。医薬品開発、診断技術、AI 活用、ゲノム編集、細胞治療、バイオ製造など、幅広いライフサイエンス領域を対象とし、毎年世界中から数千件のノミネーションが集まります。バイオテクノロジー分野で「ブレークスルー」となるような成果を挙げた企業や研究者にとって、非常に名誉あるものです。

## \*2 Contract Research and Development Innovation Awardについて

この賞は、創薬や治療法開発において、その過程を加速させるような革新的な技術やプラットフォームの導入、AI、オルガノイド技術などの先端技術を活用することで、前臨床・臨床研究の効率化やデータの信頼性・再現性向上させた企業や CRO 等を評価するものです。

## \*3 MN-166（イブジラスト）について

MN-166 はファースト・イン・クラスの経口摂取可能な小分子化合物で、マクロファージ遊走阻止因子 (MIF) 阻害剤、ホスホジエステラーゼ-4 及び-10 の阻害剤で、炎症促進作用のあるサイトカイン、IL-1 $\beta$ 、TNF-a、IL-6などを阻害する働きを有しており、また、反炎症性のサイトカイン IL-10、神経栄養因子及びグリア細胞株由来神経栄養因子を活性化する働きも認められています。グリア細胞の活性化を減衰し、ある種の神経症状を緩和することがわかっています。前臨床研究および臨床研究において抗神経炎症作用及び神経保護作用を有することが確認されており、これらの作用が MN-166 の神経変性疾患（進行型多発性硬化症、ALS など）、各種依存症、慢性神経因性疼痛などに対する治療効果の根拠と考えられております。当社は、進行型多発性硬化症及び ALS、薬物依存症をはじめとする多様な神経系疾患を適応とする新薬として開発しており、進行型多発性硬化症、ALS、薬物依存などを含むさまざまな疾患治療をカバーする特許のポートフォリオを有しております。

## メディシノバについて

メディシノバ (MediciNova, Inc.) は、米国を拠点とする臨床開発ステージにあるバイオ医薬品開発企業です。炎症性疾患、神経変性疾患、癌などの様々な疾患領域において、開発後期ステージの広範なパイプラインを開発しています。

主要な開発品である 2 つの化合物、MN-166（イブジラスト）と MN-001（タイペルカスト）は複数の作用機序を持つ低分子化合物です。動物モデルスタディで様々な効果が確認されているほか、これまでの臨床経験において高い安全性プロファイルを有しています。

MN-166（イブジラスト）は、現在、筋萎縮性側索硬化症 (ALS)、変性脊椎頸椎症 (DCM) で臨床第Ⅲ相（フェーズ 3）段階の治験が進められています。他にも膠芽腫（グリオblastoma）及び嗜好品依存症の治療薬候補品として臨床第Ⅱ相（フェーズ 2）段階にあります。

MN-001（タイペルカスト）は、糖尿病による脂質異常症・非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) を対象に、臨床第Ⅱ相（フェーズ 2）段階の治験が進められています。

当社は、欧米政府や公的機関からの研究資金助成を受け、多くの医師主導型臨床治験を実施してきた強固な実績を有しています。

当社詳細につきましては <https://medicinova.jp/>をご覧下さい。本社所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州 ラ・ホイヤ、スイート 300、エグゼクティブ・スクエア 4275（電話 1-858-373-1500）です。

## 注意事項

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法 (The Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、MN-166、MN-001、MN-221 及び MN-029 の治療法の将来における開発や効果に関する記述などが含まれます。これらの「将来の見通しに関する記述」には、そこに記述され、示されたものとは大きく違う結果または事象に導く多数のリスクまたは不確定要素が含まれます。かかる要素としては、MN-166、MN-001、MN-221、または MN-029 を開発するための提携先または助成金を得る可能性、当社の事業または臨床開発を行うために十分な資金を調達する可能性、将来の臨床治験のタイミング、費用、計画など、臨床治験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、臨床開発及び商品化のリスク、現段階の臨床治験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではない可能性、当局の承認取得の遅延または失敗の可能性、臨床治験の資金を第三者機関に頼ることによるリスク、商品候補に対する知的財産権に関するリスク及びかかる権利の防御・執行能力に関するリスク、製品候補の臨床治験または製造を依頼している第三者機関が当社の期待通りに履行できない可能性、さらに臨床治験の開始、患者登録、完了または解析、臨床治験計画の妥当性または実施に関連する重大な問題、規制当局への書類提出のタイミング、第三者機関との提携またはタイミングな資金調達の可否などに起因する遅延及び費用増大に加え、当社が米国証券取引委員会に提出した 2024 年 12 月期の Form10K 及びその後の 10Q、8K など届出書に記載されているものも含め、しかしそれに限定されないその他のリスクや不確定要素があります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社

の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。